令和６年度　袋井あやぐも学園　幼小中一貫教育　グランドデザイン

学園教育目標　夢を追い続ける子供の育成

構成校・園
袋井中　袋井東小　袋井西小　袋井北小　今井小（連携校）　袋井東幼　袋井西幼　田原幼　若葉こ　若草こ
◆主な連携校　袋井あそびこ　明和第二保　めいわ可睡保　たんぽぽ第二保　どんぐり　MOE保育園てんじん園

学園が目指す子供像
○「自主（Iの力）」－自立力
学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿
○「協同（Weの力）」－社会力
集団の一員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命汗を流す姿

推進　体制
経営委員会 ― 運営委員会 ― 拡大推進委員会 ― 推進委員会 ― カリキュラム活用委員会 ― 一貫研
- 授業づくり部
- 学びづくり部
- 体づくり部
- 心づくり部
- 生き方部
- 特別支援教育部

【 評価指標・目標値 】
「あてはまる」の割合　（小6／中3）
「学校が楽しい」　（ 70 ／ 65 ）
「みんなで何かするのが楽しい」　（ 75 ／ 75 ）
「授業に主体的に取り組んでいる」　（ 55 ／ 55 ）
「授業がよく分かる」　（ 55 ／ 40 ）

学園経営目標　幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と協同（Weの力）を育成する学園

推進のための基本方針
○学園カリキュラムで目指す姿を共有する
○一貫研と組織(カリキュラム活用委員会･拡大推進委員会)で教職員をつなぐ
○子供理解(振り返り個票、個別の教育支援計画･指導計画等)により指導をつなぐ
○一貫研･学園(学校)運営協議会で学校と地域をつなぐ　はごろも夢講演会で子供観を共有する

施設分離型　幼稚園・こども園・保育園・中学校をつなげる「共有する子ども観」と「手立て」

子ども一人一人にとって「魅力ある学校・園づくり」（絆・居場所づくり）

聞く指導・ボイスシャワー

一貫性を持たせた教育指導・取組の要点（６つのアクションプラン）

幼保小架け橋プログラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
生きて働く知識・技能の習得　未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力

＜幼稚園・保育園＞　＜低学年＞　＜中学年＞　＜高学年＞　＜中学生＞

お互いの良さや違いを認め合いながら、「豊かな未来」を創造しようとする意欲を育成する

共生・共育

授業づくり
主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子を育成する

・学びの見通しが持てる課題設定
・思考を働かせる時間の設定
・わかったできたと実感できる振り返り活動

・思考力のめばえを支える遊びの充実
・遊びや生活の中での気付き
・遊びの振り返りの設定

小　・「？」型の課題設定・課題を解決するための必要感が感じられる導入場面
・学習課題に対するまとめの時間の設定
・自分の言葉で振り返らせる視点の明確化

中　・「？」型の課題設定・生徒の振り返りを生かし、課題を解決するための必要感が感じられる課題設定
・課題解決への取組と学習内容の理解を評価表で振り返る

学びづくり
「話す」「聞く」を大切にし、他者と協働したり、家庭の学びを充実させたりしながら主体的に学習する態度を養う

話す・聞く
自分の思いを言葉で伝える／聞くことの大切さを知り、聞こうとする／相手を見て聞こえる声で話す／相手を意識して聞く／相手に分かりやすく話す／相手の話に反応しながら聞く／相手の意見とつなげながら話す／相手と自分の考えを比べながら聞く／相手を意識して聞きたくなる話し方で話す／相手の考えを引き出す効き方で聞く

家庭の学び
主体的に学びに向かう態度を身に付ける
遊び･楽しさを家庭で共感する／取組み方（型･ルール）を振り返る／自学の内容を一緒に考える／授業の学びを生活に生かす／外発的･内発的動機付けから学ぶ

体づくり
「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築く力や目標に向けて努力し続ける力を育てる

「あそび」を通して体を動かすことを楽しむ／「できた」を増やしながら体を動かすことを楽しむ／協力して体を動かすことを楽しむ／目標達成に向けて、考えながら体を動かすことを楽しむ／自己の目標に合わせ、努力を積み重ねるために体を動かすことを楽しむ

心づくり
「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる

静
周りの友達と生活できる（個）／ルールを知り、周りの友達と生活できる（公）／よく考えて行動し、ルールに従って生活できる／よく考えて行動し、ルールに従い責任を持って生活できる／TPO（時･所･場所）を考え、相手の立場を尊重してマナーを守る

温
自分や周りのもの･ひとを大切にできる／周りの人に親切にすることができる／周りの人に進んで関わり親切にすることができる／相手の立場や気持ちを考えた関りを持つことができる／周りの人に感謝の気持ちを持ち他の人に対し、親切にすることができる

生き方
自他の良さを認め、「なりたい自分に向かって歩む子ども」を育成する

交流・協働
友達と一緒に生活や遊びに必要なことを考え、やってみようとする／自分と友達との違いに気付き、その違いを大切にしながら交流する／お互いの良さを認め合い、良さを生かした活動･交流をする／自分が大切にしていることや、友達が大切にしていることを知ろうし、お互いに異なる価値観を大切にしながら一人一人が活躍する

未来の袋井（まち）
身近な人や地域に親しみ持つ／身近な地域に触れ、地域を知る／袋井市の良さを見付け、発信する／袋井市の良さを実感し、自分の未来を描き何をしていきたいのかを考え、行動する（人･もの･こと）

主体性・自己有用感

特別支援教育
誰もが十分に発揮できる教育環境を目指し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、園児･児童･生徒の自立力･社会力を育てる